

2019/10/6(日) 9:30-16:50 (受付開始 9:00)

がんプロフェッショナル研修会

乳がん化学療法患者に対するファーマシューティカルケア ～がんゲノム医療の最新情報について～ [講演] / [症例検討] / [SGD] 症例スモールグループディスカッション

- * 終了後、症例サマリーを作成、期日までに提出して頂きます。
- * プログラム全てを受講し、課題を提出した受講者にのみ単位認定いたします。
- * 下記 3 種類の単位を取得できます(後日郵送いたします)
 - ・慶應義塾大学薬学部生涯研修認定単位 4 単位
 - ・日本臨床腫瘍薬学会 外来がん治療認定薬剤師講習(研修)認定単位 3 単位
 - ・日本医療薬学会認定 がん専門薬剤師講習会・教育セミナー認定単位 3 単位

講座情報

乳がん患者に対する薬学的ケアの実践 ～Shared decision making を含めた介入～

《学習到達目標》

- ・乳がん患者に対する経口ホルモン薬・経口抗がん薬の服薬指導・疑義照会ができる。
- ・乳がん治療に用いられる主な治療薬(レジメン)を理解し、適切な副作用モニタリングと評価、マネジメントができる。
- ・遺伝子情報を取り扱う際の配慮について考えることができる。
- ・治療における様々な問題や背景に対して患者と関係性を構築できる。

「がんゲノム医療の実状と求められる知識」

四十物 絵理子

2019 年、遺伝子パネル検査が保険償還され、現場では知識や人材不足、不十分な制度体制により、多数の混乱が生じている。今回は、我々が2017年から自費診療で行ってきたがん遺伝子パネル検査「PleSSision 検査」と2018年にスタートしたがん遺伝子パネルスクリーニング検査「PleSSision-Rapid 検査」の経験を基に、現在のがん遺伝子パネル検査の理解を深め、今後のがんゲノム医療に積極的に取り組めるような基礎知識を共有したい。

「[症例検討]乳がん患者に対する副作用評価と治療マネージメント～副作用評価と治療マネージメントを学ぶ～」

宇田川 涼子

若年性乳がん患者における薬物治療と副作用マネージメントについて症例を通して学びます。患者背景に合わせた治療選択や遺伝子検査について、薬剤師としての関わりについてディスカッションを行い、Shared decision making の意識を高めることを目指します。乳がん治療においては、昨今、経口抗がん剤が増えてきており、病院だけでなく保険調剤薬局の役割が増えてきています。この機会に薬薬連携についても学びを深めたいと思います。

講演者情報

「がんゲノム医療の実状と求められる知識」

四十物 絵理子

慶應義塾大学医学部 腫瘍センターゲノム医療ユニット 特任助教

プロフィール

富山県・富山市生まれ。

2009年北海道大学卒。

2009年から河北総合病院で3年間内科研修を行い、内科認定医を取得。

2012年から埼玉医大国際医療センター、埼玉医大、埼玉医大総合医療センターで病理学研修し、外科病理・分子病理を学ぶ。

2018年から慶應義塾大学医学部腫瘍センターゲノム医療ユニットにて、遺伝子パネル検査を中心にがんゲノム医療に従事。

主要著書

がんと正しく戦うための 遺伝子検査と精密医療～いま、医療者と患者が知っておきたいこと 西原広史(著)

参考サイト

http://kompas.hosp.keio.ac.jp/contents/medical_info/presentation/201807.html

「[症例検討]乳がん患者に対する副作用評価と治療マネージメント～副作用評価と治療マネージメントを学ぶ～」

宇田川 涼子

国立がん研究センター中央病院 薬剤部

プロフィール

2004年 北里大学薬学部 卒業

2006年 北里大学薬学部大学院臨床研究コース 修士課程修了

2006年 国立がんセンター中央病院(現:国立がん研究センター中央病院)

薬剤師1期レジデントとして入職

2009年 国立がん研究センター中央病院

正規職員として入職

2013年 国立がん研究センター東病院へ異動

2015年 国立がん研究センター中央病院へ異動

参考サイト

・乳癌診療ガイドライン <http://jbcs.gr.jp/guideline/2018/>

・若年性乳がんサポートコミュニティ <http://happysmile-pinkribbon.com/pinkring/>

・日本乳がんピンクリボン運動 <http://www.j-posh.com/>

・がんノート <https://gannote.com/>